

世帯と人口

(12月1日現在)
世帯 47,944
人口 124,771人
男 63,536人
女 61,235人

問 行政経営課
(☎235・4698＝直通)

広報えびな

編集・発行 海老名市役所 市長室
〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬 175 番地の1
☎046(231)2111(代) ☎046(233)9118
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

「広報えびな」は、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。
問 同センター (☎292・0303)



大好きえびな 子どもの年

～育て 元気な えびなっ子～

あけましておめでとうございます。

年の初めにあたり、今年こそはと誰もが胸に期するものがおりと思います。

昨年は犯罪や虐待、いじめなどで命を落とす子どもたちが多く、少子化に加え、さらに子どもが増えない要因が増加したようで、暗い気持ちになりました。

私が子どものころはガキ大将を中心に、近所のさまざま年齢の子どもが集まり、暗くなるまで外で遊んだものでした。地域の大人たちはそういう子どもたちを見守り、叱るときには、自分の子どもであろうとなかろうと叱ったものでした。子育てが親だけでなく、地域の大人たち全部で行われていたようなもので、現在の地域社会ではほとんど見られなくなった機能だろうと思います。

海老名市では、子育てをする若い親御さんたちへ子育て支援センターでの相談や、子どもを預けたい親と預かっていいという人の橋渡しをする「ファミリー・サポート・センター事業」などを行い、地域で子どもを育てる活動を行っています。

また、私が就任以来毎年設定している市の年間事業テーマですが、19年度は「大好きえびな子どもの年 育て元気なえびなっ子」とし、19年度を「子どもの年」とする予定です。子育てをはじめ、子どもの健全な成長や学習のための新規事業をはじめ、既存事業の底上げを行い、少子化対策強化の契機にしようと考えています。

現在、平成19年度予算の編成作業中であり、各部署から提案された子どもに関わる各種事業について、検討を加えています。少子化は社会全体が子どもを産みにくい、育てにくい状況になっているところに根本的要因があり、児童福祉や教育だけの問題ではなく、市の事業で言えば道路、公園などのハードウェア整備から税制や労働問題まで広範な対応が必要と考えています。

そして、社会全体が子育てを支援し、見守る姿勢こそが重要であり、ここにも「地域の力」が必要で、市はその面でも地域力の強化に取り組まなければならないと思っています。近い将来、各地区に地区社会福祉協議会を設立していくことなどは、高齢化社会への対応とともに、少子化対策に対しても一つの答えになると思います。今年が皆様にとってよい年となりますよう、願っております。

平成19年 正月

海老名市長 内野 優

表記方法を一部変更 ～時間を24時間表記に～

今号から、次の例のように表記方法を一部変更しました。

㊤【時間】午前8時30分～午後5時30分 → 8時30分～17時30分

【曜日】(水) → ㊤ 【メールアドレス】→㊤ 【ホームページアドレス】→ ㊤

